



職場のメンバーのキャリア形成や
ワーク・ライフ・バランスを積極的に応援する
イクボス宣言者を募集しています。



OMPU IKU BOSS



教職員がいきいきと
働き続けられる職場づくりには、
学内組織全体の意識改革が重要です。



イクボス宣言するには？

対象は管理・監督者です。



◀ 宣言書

1 イクボスについて、理解する。

イクボス 10 カ条やイクボスについての知識や理解を深めます。
※裏面にイクボス 10 カ条を紹介しています。

イクボス宣言を
ホームページで紹介しています▶



2 イクボス宣言を行い、宣言書の写しを人事管理課窓口へ提出する。

イクボス宣言を希望する場合は、人事管理課窓口へお申し出ください。
イクボス宣言書をお渡しするので、サインしてコピーを取り、
コピーを人事管理課窓口へ提出してください。(原本は各自保管)

■ 問い合わせ

女性医師・研究者支援センター事務局

担当 前田、青山、権田
連絡先 (072) 684-7208 内線 3293
メール ikubosusengen@ompu.ac.jp

3 育児や介護などがあっても、業務を滞りなく進めるために工夫をしつつ、業務改善を推進し、自らも仕事と生活を充実させる。

女性医師・研究者支援センター
ホームページ



イクボス10ヶ条



イクボス10ヶ条とは、NPO ファザーリング・ジャパンによって作成された条件であり、そのうちの過半数の条件を満たしていることが「イクボス」の証とされています。

1 理解
現代の子育て事情を理解し、部下がライフ（育児）に時間を割くことに、理解を示していること

2 ダイバーシティ
ライフに時間を割いている部下を、差別（冷遇）せず、ダイバーシティな経営をしていること

3 知識
ライフのための社内制度（育休制度など）や法律（労基法など）を、知っていること

4 組織浸透
管轄している組織（例えば部長なら部）全体に、ライフを軽視せず積極的に時間を割くことを推奨し広めていること

5 配慮
家族を伴う転勤や単身赴任など、部下のライフに「大きく」影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること

6 業務
育休取得者などが出ても、組織内の業務が滞りなく進むために、組織内の情報共有作り、チームワークの醸成、モバイルやクラウド化など、可能な手段を講じていること

7 時間捻出
部下がライフの時間を取りやすいよう、会議の削減、書類の削減、意思決定の迅速化、裁量型体制などを進めていること

8 提言
ボスからみた上司や人事部などに対し、部下のライフを重視した経営をするよう、提言していること

9 有言実行
イクボスのいる組織や企業は、業績も向上するということを実証し、社会に広める努力をしていること。

10 隗より始めよ
ボス自ら、ワークライフバランスを重視し、人生を楽しんでいること。